



2023年10月期 第3四半期

決算説明資料

トビラシステムズ株式会社
(東証プライム 4441)

2023年9月8日





INDEX

目次

- ① 決算ハイライト、事業概要
- ② 2023年10月期 第3四半期 トピック
- ③ 2023年10月期 第3四半期 業績
- ④ 2023年10月期 見通し
- ⑤ 東証市場区分再編の経過措置終了時期の
明確化に対する当社の対応について

1

決算ハイライト、
事業概要

2023年10月期 第3四半期 決算ハイライト

売上高

520百万円

(前年同期比 126.3%)

営業利益

164百万円

(前年同期比 120.7%)

迷惑情報フィルタ事業サービス別 売上高

- モバイル向け **371百万円** (前年同期比 118.5%)
- 固定電話向け **50百万円** (前年同期比 131.6%)
- ビジネスフォン向け **87百万円** (前年同期比 193.6%)

モバイル向け

- 2022年10月に締結した「固定契約」モデルの新規契約や、2023年4月からの「契約者×単価」モデルの契約更改（単価アップ）等が寄与し成長を維持

固定電話向け

- KDDIのCATV向けサービスが引き続き伸長し、成長を維持

ビジネスフォン向け

- トビラフォン Bizの売上が牽引し、前年同期比で、高い成長を維持

私たちが目指す世界

企業理念・行動指針

私たちの生活 私たちの世界を
よりよい未来につなぐトビラになる

テクノロジーで社会課題の解決に挑みます

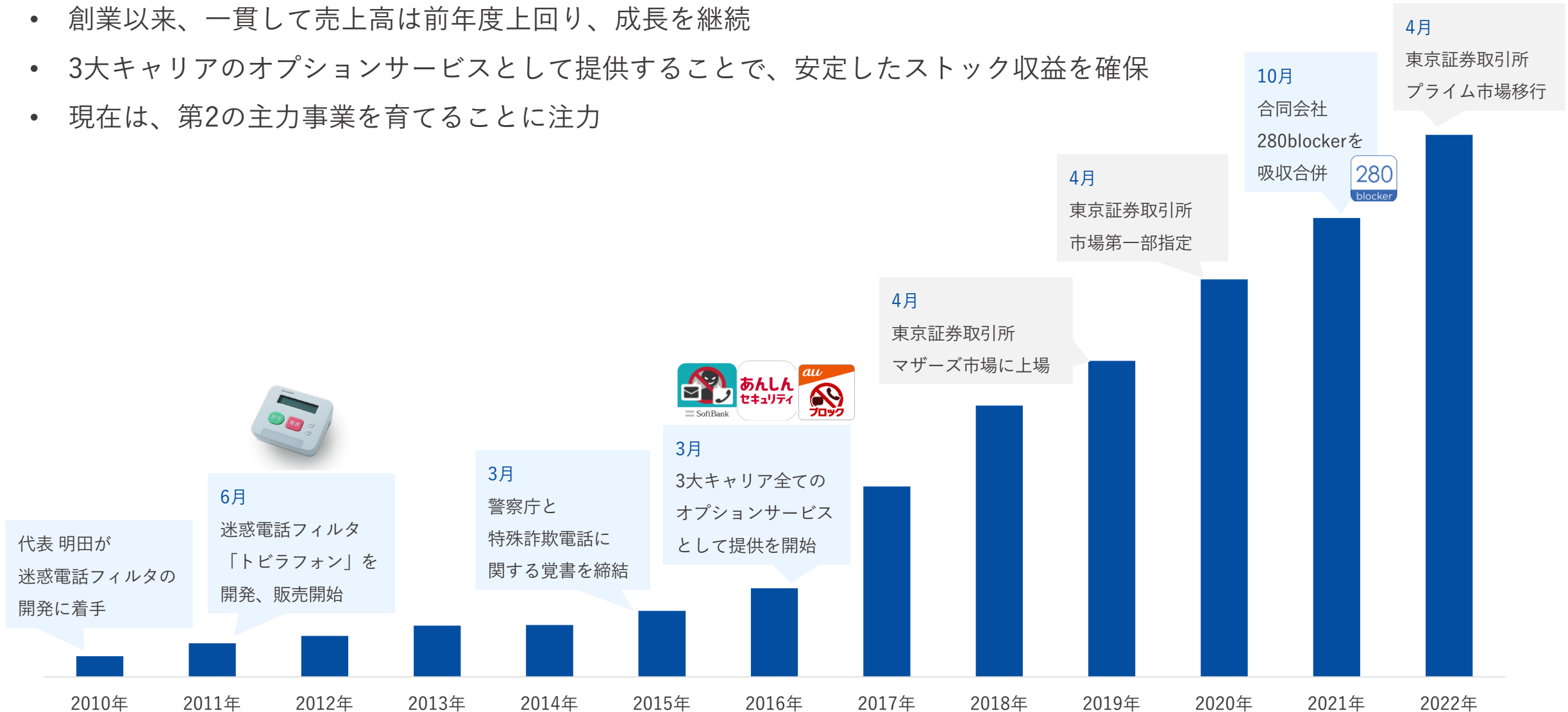
私たちは素晴らしい未来を想像し、失敗を恐れず変化を続け、常識を疑いあるべき形を追求します。

社会的課題を解決する、人々の役に立つ製品を次々に生み出し、持続的かつ発展的に成長するため適切な利益を得ます。

自分と大切な人が幸せな時間を送れる環境であり続けることが、私たちの成長や世界中の人々の生活の向上につながっていきます。

これまでのトビラシステムズの成長の軌跡

- 創業以来、一貫して売上高は前年度上回り、成長を継続
- 3大キャリアのオプションサービスとして提供することで、安定したストック収益を確保
- 現在は、第2の主力事業を育てることに注力

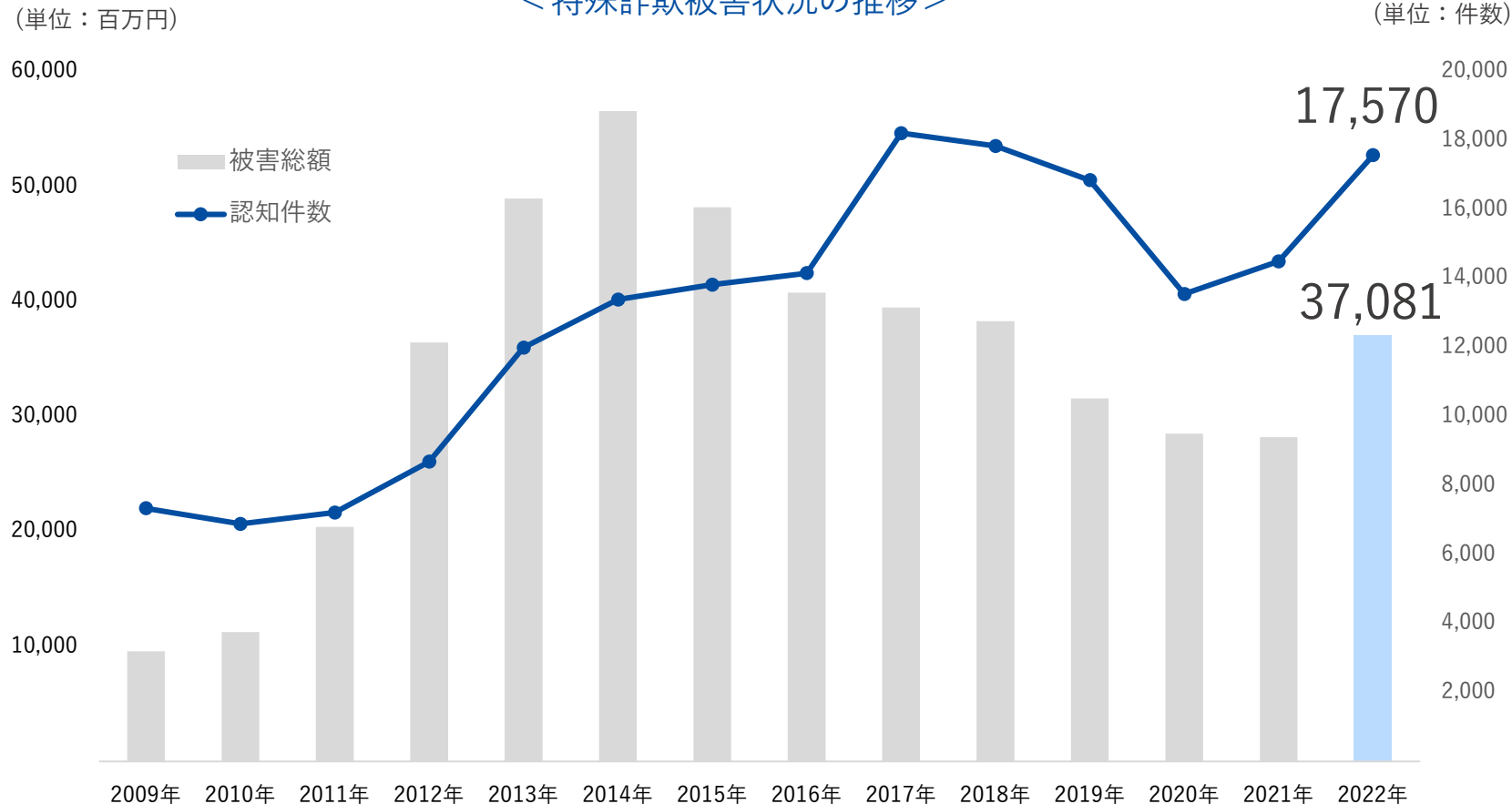


脚注：棒グラフは当社の売上高

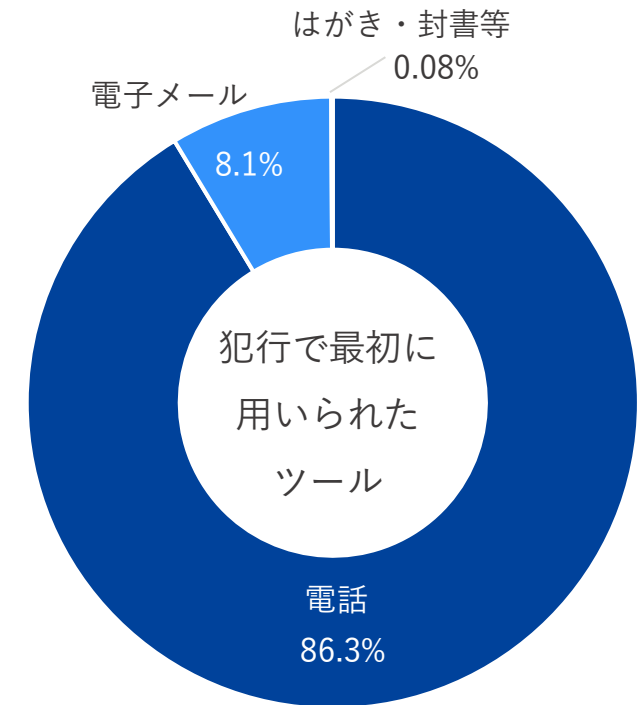
当社が挑む社会課題：特殊詐欺犯罪、グレーゾーン犯罪

- 2022年の特殊詐欺は認知件数・被害総額ともに増加：約371億円。1日あたりに換算すると約1億円もの被害額
- 2023年上半期の特殊詐欺被害は前年同期で26.8%増加の193億円

<特殊詐欺被害状況の推移>



<犯行の手段>



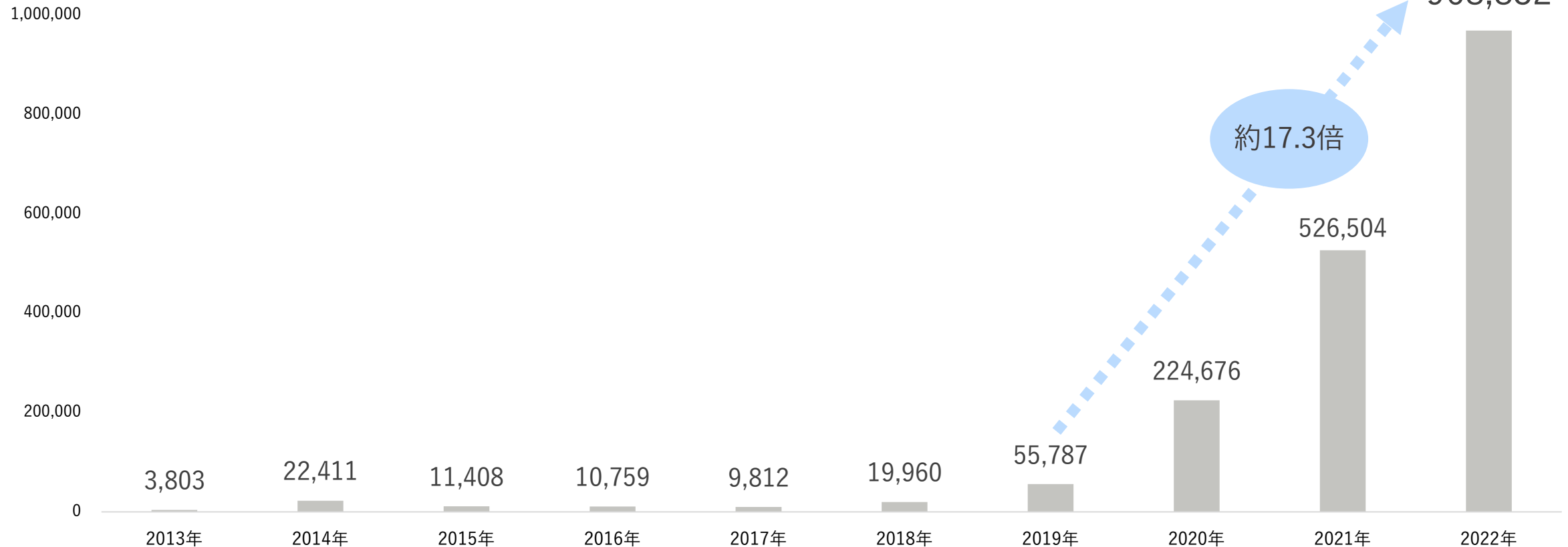
出所：警察庁「令和4年における特殊詐欺の認知・検挙状況等について（確定版）」、「令和5年上半期における特殊詐欺認知・検挙状況等について」

当社が挑む社会課題：フィッシング詐欺

- 2020年以降、フィッシング報告件数は年々大幅に増加している状況*1
- フィッシング詐欺のSMS（スミッシング）も年々増加、2022年は前年比の約2倍*2

<フィッシング報告件数>

(単位：件数)

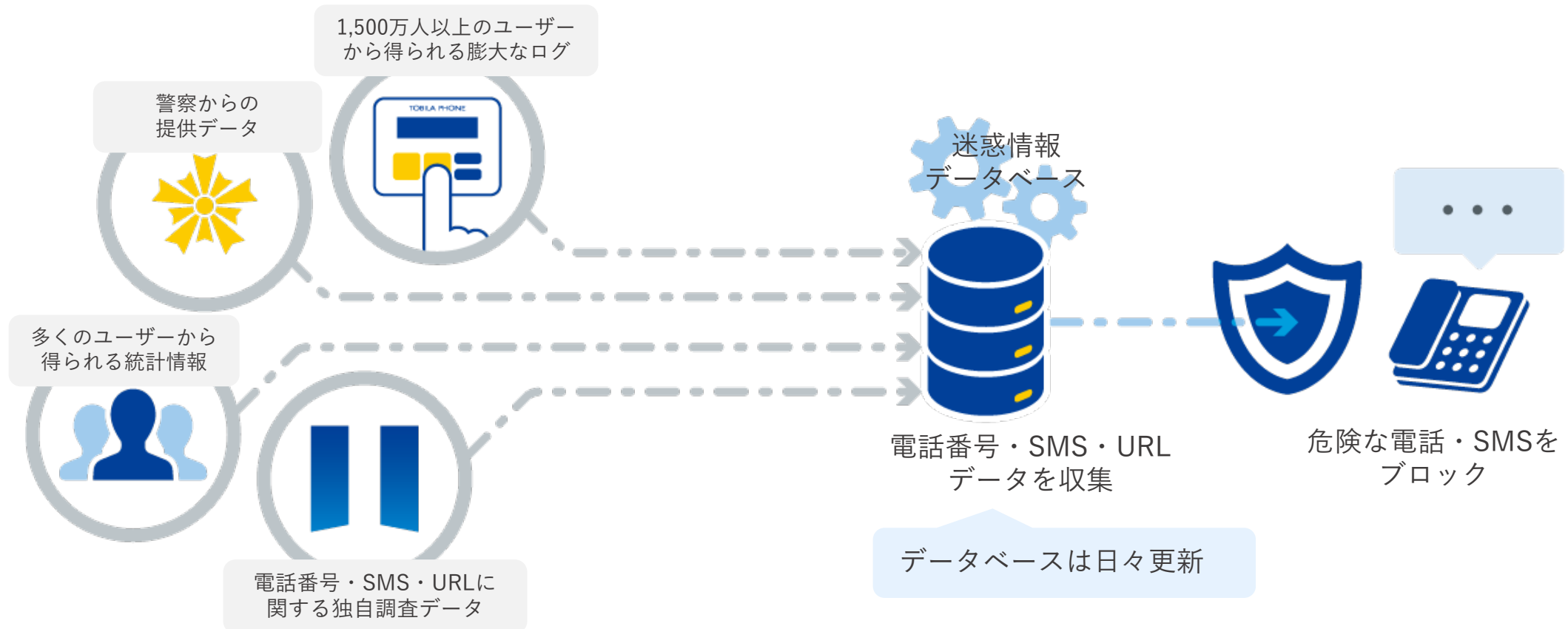


*1：フィッシング対策協議会 月次報告書 (<https://www.antiphishing.jp/report/monthly/>)

*2：プレスリリース「トビラシステムズ、2022年のスミッシングトレンドワードと手口ランキングを発表」

当社の迷惑情報データベースの強み

- 危険な電話番号・SMSに記載されているURL等をブラックリスト化し、ブロックする仕組みを提供
- 警察から、実際に犯罪や攻撃に使われたとみられる電話番号・URLのデータを提供いただく
- 利用者が多くなるほどデータが蓄積され、データベースの精度が高まる循環システムを確立



サービス内容

- 迷惑情報フィルタ事業は「モバイル向け」・「固定電話向け」・「ビジネスフォン向け」の3つのサービスを展開し、電話を全方位からカバー

モバイル向け



- 主に通信キャリアのアプリとして提供
- 迷惑電話、迷惑SMSをブロック
- 不快な広告をブロック

固定電話向け



- 外付け型、機器内蔵、ネットワーク網まで様々なタイプでサービス展開
- 不要な営業電話や詐欺電話をブロック

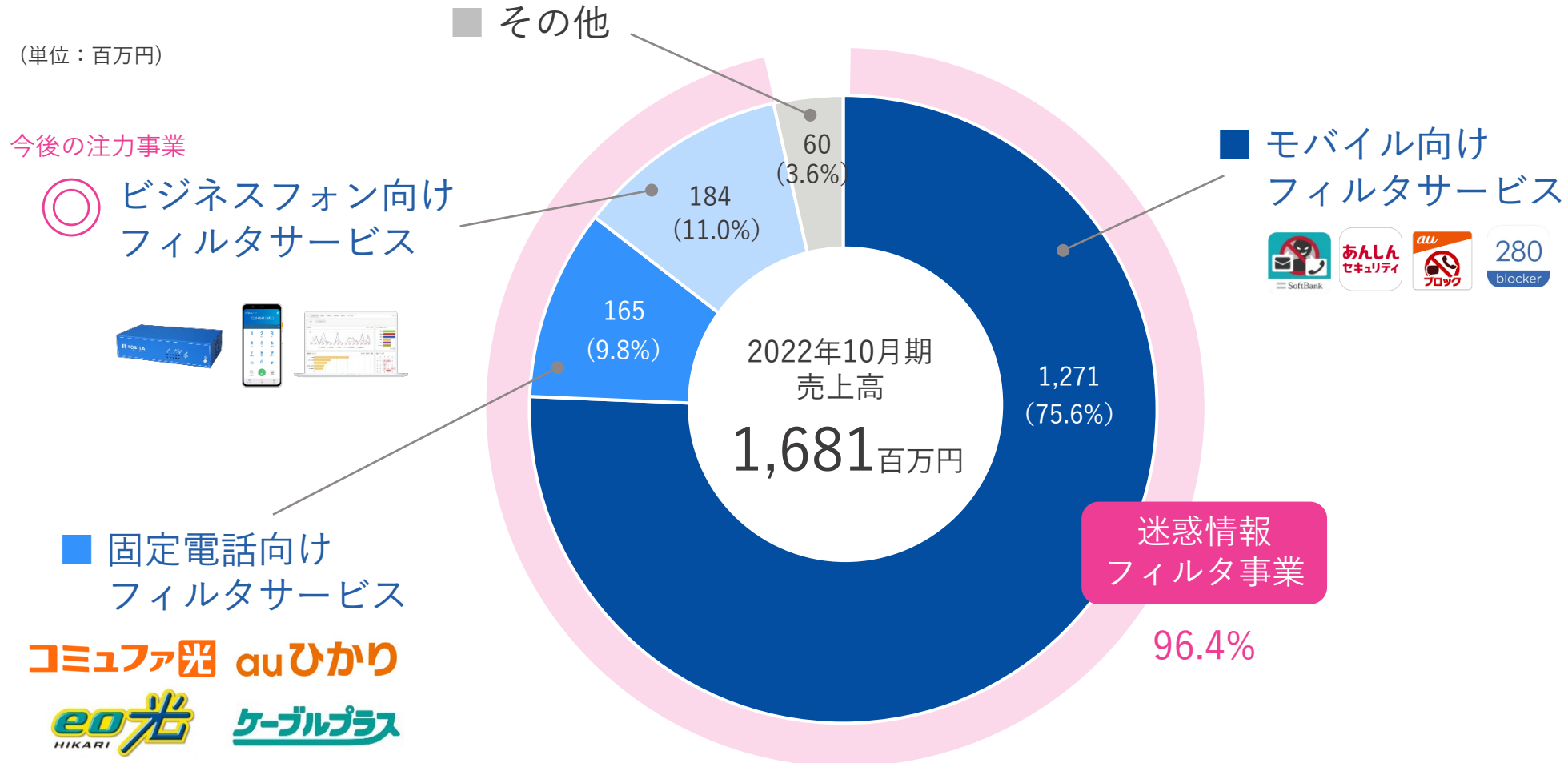
ビジネスフォン向け



- 法人向けサービス
- 電話業務の効率化やDXを促進

事業セグメント（2022年10月期通期）

- 主力事業は、迷惑情報フィルタ事業であり、中でもモバイル向けフィルタサービスの売上が75.6%を占める
- モバイル向けの安定収益を基盤に、成長分野であるビジネスフォン向けフィルタサービスへ注力

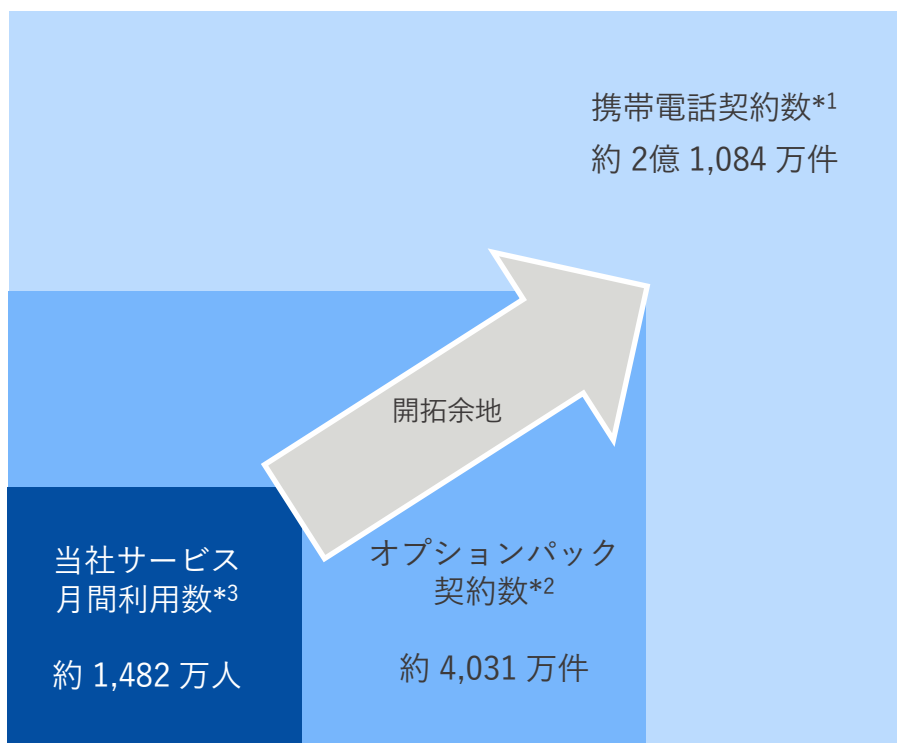


モバイル向け

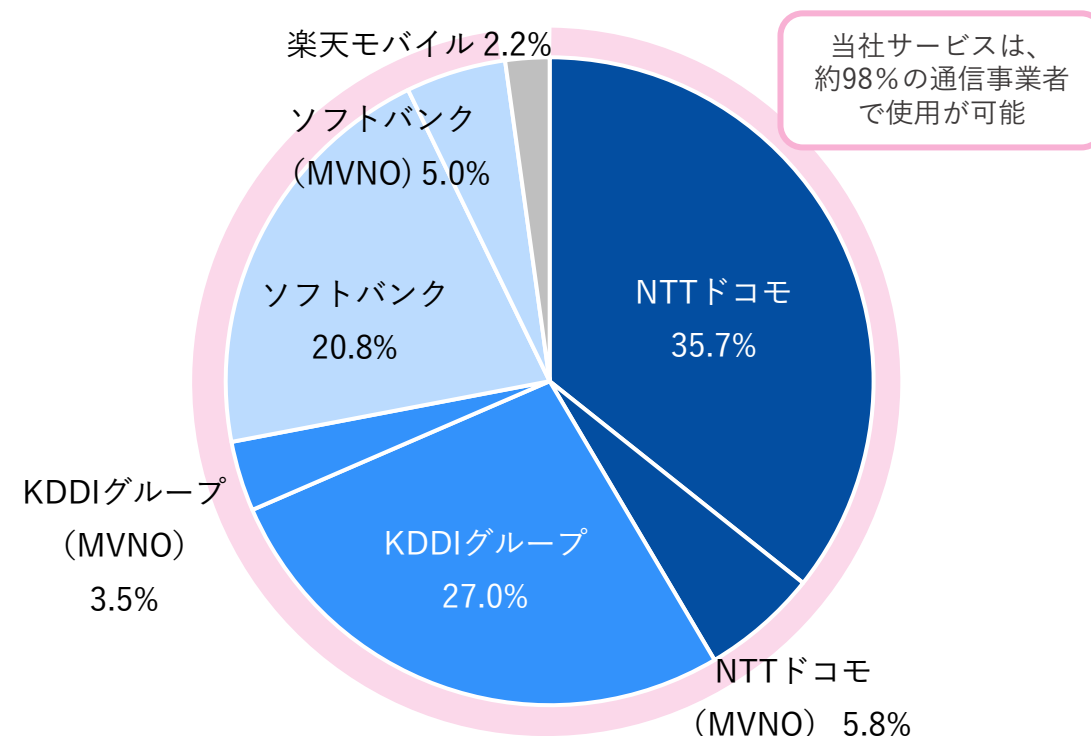
モバイル向けに関するマーケット

- 現在、追加で料金を支払うことなく当社サービスを利用できるユーザーは約4,031万人以上
- 大手通信キャリアに当社サービスを提供しており、サービス利用に向けた効果的な活動が可能

< 潜在市場規模 >



< モバイル回線企業別シェア状況 >



*1：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェア」四半期データ（2023年6月23日公表）

*2：ソフトバンクは当社把握データ、auはKDDI株式会社公表の[2024年3月期 第1四半期決算詳細資料](#)よりスマートパスプレミアム契約数、NTTドコモは2018年12月19日公表のオプション契約者数より当社推定。

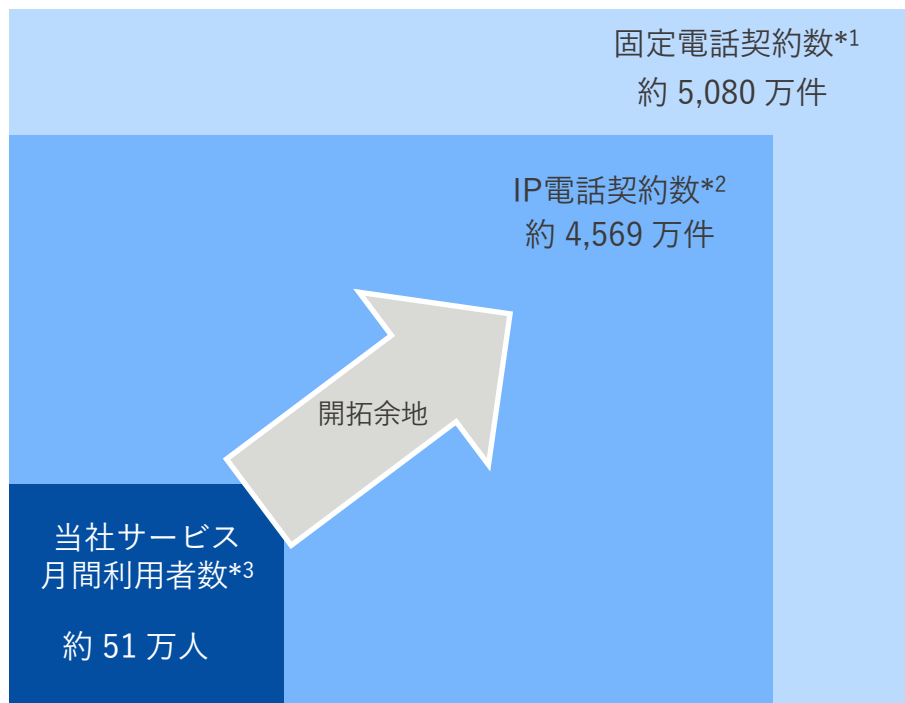
*3：2023年7月31日時点。一部暫定値が含まれております。今後確定値が反映された場合に、多少の増減が発生する可能性があります。

固定電話向け

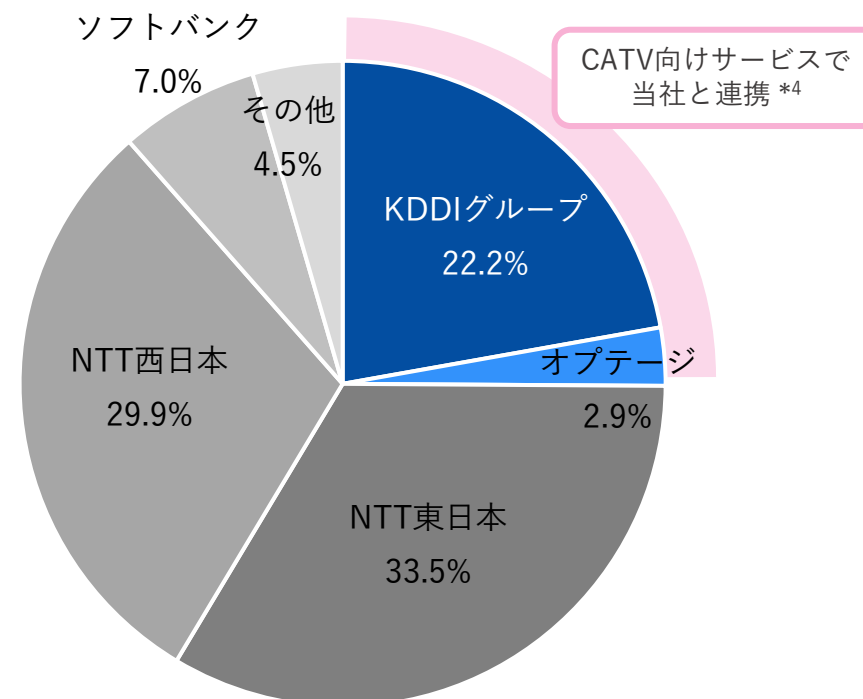
固定電話向けに関するマーケット

- 2025年頃にNTT東日本およびNTT西日本の固定電話用信号交換機が維持限界を迎えるとされており、固定電話回線からIP電話への移行需要が増加しているため成長余地がある

< 潜在市場規模 >



< 固定電話回線企業別シェア状況 >



*1、*2：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェア」四半期データ（2023年6月23日公表）

*3：2023年7月31日時点。一部暫定値が含まれております。今後確定値が反映された場合に、多少の増減が発生する可能性があります。

*4：プレスリリース「国内初、専用機器不要で固定電話への迷惑電話を自動遮断する「迷惑電話自動ブロック」を提供」

2

2023年10月期
第3四半期トピック

ビジネスフォン向け

トビラフォン Cloudが6期連続3部門で「Leader」を受賞

- 「ITreview Grid Award 2023 Summer」*1のPBX部門、IVR（自動音声応答）部門、IP電話アプリ部門の3部門で、最高位の「Leader」を6期連続受賞。*2「トビラフォン Cloud」は平均顧客満足度4.2を獲得（2023年7月24日時点）



ITreview | どのような課題解決に貢献しましたか？どのようなメリットが得られましたか？

★★★★★

2年ほど前の会社移転時に導入をしましたが 工事も不要で導入コストも非常にやすくて良かった。

業種 その他 職種 経営・経営企画職 従業員規模 20人未満

ITreview | どのような課題解決に貢献しましたか？どのようなメリットが得られましたか？

★★★★★

在宅勤務中のスタッフと出社をしているスタッフでも同じ環境で利用できる点がとても優れています。導入することで、誰か1人が電話番号をするというような個人にかかる負荷が軽減されました。

業種 旅行・レジャー 職種 営業・販売・サービス職 従業員規模 100-300人未満

ITreview | トビラフォンCloudの良いポイント

★★★★★

優れている点・好きな機能

- ・従業員がテレワークで事務所にかかってきた電話を取れるようになったのは良かったです。
- ・ボタン一つで電話のかかるかからないの調整や、グーグルカレンダーと連動するのは好きな機能です。

業種 会計、税務、法務、労務 職種 経営・経営企画職 従業員規模 20人未満

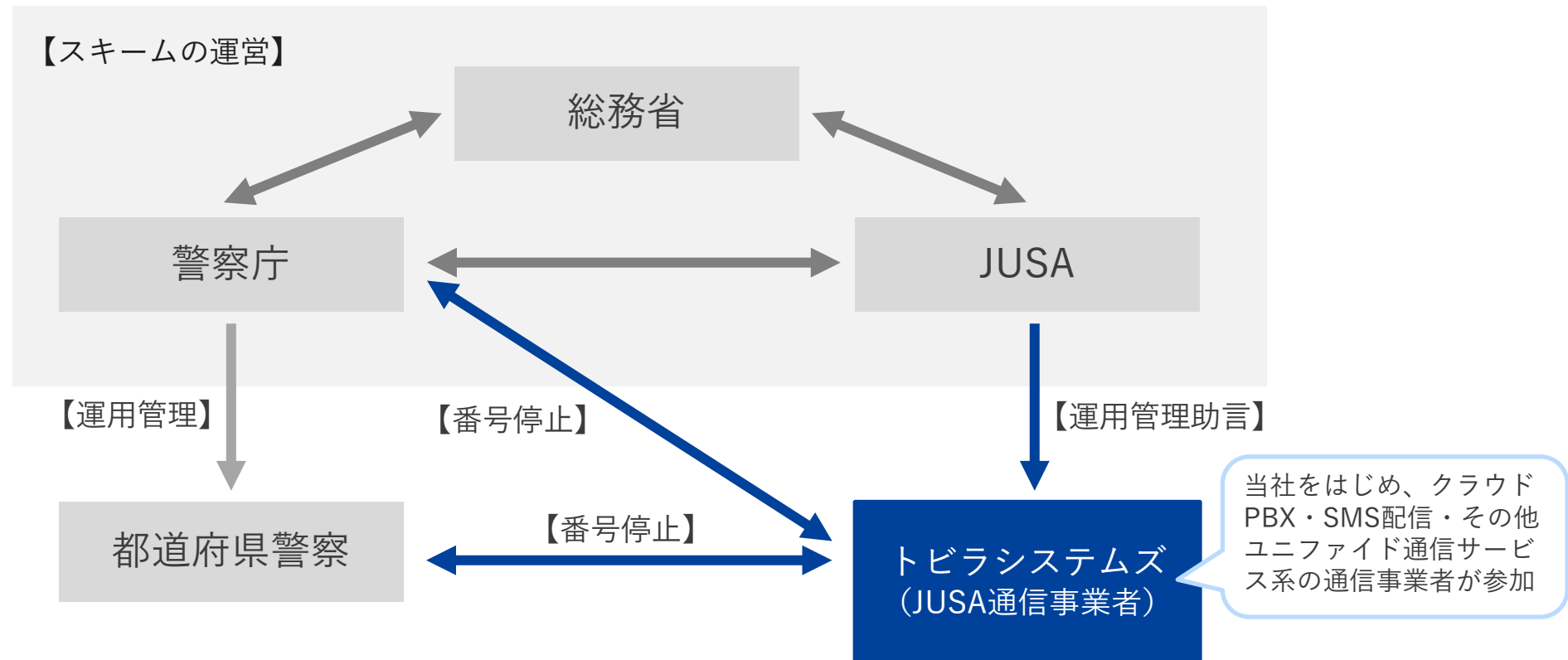
*1：ITreview Grid Award 2023 Summer (https://www.itreview.jp/award/2023_summer.html)

*2：プレスリリース「「トビラフォン Cloud」が、ITreview Grid Award 2023 SummerのPBX・IVR（自動音声応答）・IP電話アプリの3部門で「Leader」を6期連続受賞」

全社 JUSA・総務省・警察庁の「番号停止スキーム」に参加

- 2023年3月に一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会（JUSA）に加入
- JUSA・総務省・警察庁が連携して運用する、特殊詐欺等に利用された電話番号を利用停止する取り組みである「番号停止スキーム」*1に参加*2し、2023年8月1日より運用を開始。特殊詐欺の撲滅に向けた活動を強化

<番号停止スキーム>



*1：番号停止スキームについて (<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000012.000074499.html>)

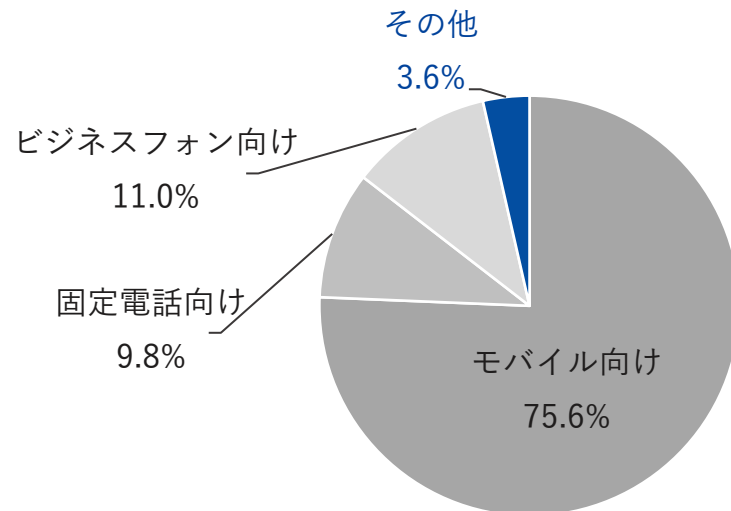
*2：プレスリリース「トビラシステムズ、JUSA・総務省・警察庁の「番号停止スキーム」に参加」

その他の事業

ホームページ制作運営支援事業「HP4U」の事業譲渡について

- 「HP4U」は、上場時より積極的に展開はしない方針であり、主力の＜迷惑情報フィルタ事業＞に経営資源を集中させることが当社の中長期的な企業価値の向上に資すると判断し事業譲渡を決定
- 特別利益を計上見込であるが、軽微であるため業績予想は修正せず。ただし、当期期末配当については1円60銭増配し14円50銭となる見込み（P.32参照）
- 対象事業の2022年10月期当社売上高に占める割合は34百万円（2.0%）であり、本事業譲渡による売上高及び利益の剥落分は、当社既存事業で補うことができる見込み

＜2022年10月期の売上高構成割合＞



- ＜その他の事業＞とは、ホームページの制作運営支援事業「HP4U」や受託開発事業等
- これらの事業は積極的に展開しない方針であり、事業譲渡を決定

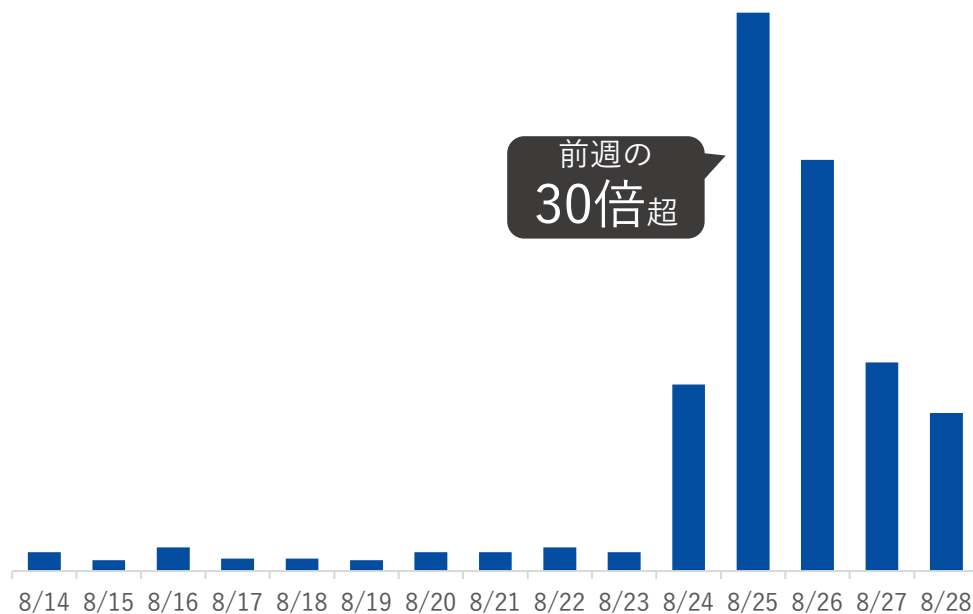


全社 ALPS処理水の海洋放出によって、海外からの迷惑電話が急増

- 2023年8月、福島第一原発でのALPS処理水の海洋放出開始後、海外、特に「+86（中国）」からの迷惑電話が急増
- 当社では調査・分析を継続し、迷惑電話の可能性のある番号を順次「迷惑情報データベース」に登録
- また、「トビラフォン Biz」で、海外からの迷惑電話を国別に一括でブロックする新機能を緊急リリースすることを決定

海外からの迷惑電話が急増*1

<国番号「+86」から国内への着信件数の推移（日毎）>



「トビラフォン Biz」新機能を緊急リリース*2

- 特定の国番号からの着信を一括拒否する
管理画面から拒否したい国番号を設定すると、その国番号からの着信を全て拒否することが可能
- 特定の電話番号を拒否対象から除外する
着信を許可する個別の電話番号の設定が可能



*1：プレスリリース「ALPS処理水の海洋放出に伴う海外からの迷惑電話急増への当社対応について」

*2：プレスリリース「法人向け迷惑電話対策「トビラフォン Biz」で海外からの迷惑電話を国別に一括ブロックする新機能を緊急リリース」

3

2023年10月期
第3四半期 業績

2023年10月期 第3四半期 業績サマリー

- 売上高は前年同期比で着実に成長。前四半期比99.7%であるが、主な要因はフロー収益の減少であり想定どおり
- 各利益も前年同期比で着実に成長。今期計画した投資をしており、前四半期比では減益であるが想定どおり

(単位：百万円)	2022年10月期 3Q（前年同期）	2023年10月期 2Q（前四半期）	2023年10月期 3Q実績	前年同期比	前四半期比
売上高	411	521	520	126.3%	99.7%
EBITDA*	175	221	213	121.3%	96.4%
営業利益	135	175	164	120.7%	93.6%
経常利益	135	174	163	120.4%	93.5%
純利益	87	115	106	122.4%	92.7%

*：EBITDAは「営業利益＋減価償却費＋のれん償却額」にて算出

2023年10月期 第3四半期 サービス別 売上内訳

- モバイル向けでは、ストック収益は着実に成長しているが、開発案件等のフロー収益が前四半期に集中したため、前四半期比98.3%となった
- 固定電話向けでは、KDDIのCATV向けサービスの契約が引き続き増加し、順調に成長
- ビジネスフォン向けでは、トビラフォン Bizの販売が概ね計画どおりに推移し、順調に成長

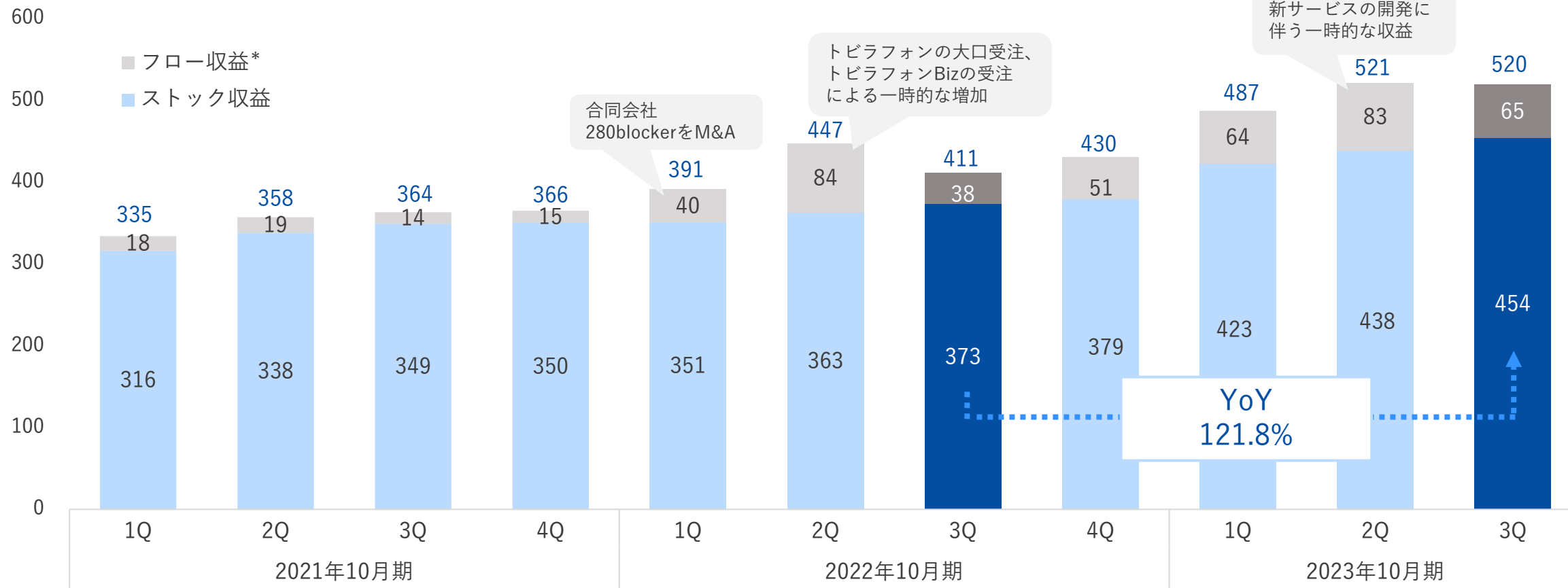
(単位：百万円)	2022年10月期 3Q（前年同期）	2023年10月期 2Q（前四半期）	2023年10月期 3Q実績	前年同期比	前四半期比
<迷惑情報フィルタ事業>	397	510	509	128.3%	99.9%
モバイル向け	313	378	371	118.5%	98.3%
固定電話向け	38	47	50	131.6%	107.2%
ビジネスフォン向け	44	84	87	193.6%	103.0%
<その他の事業>*	14	11	10	71.8%	90.9%

*：<その他の事業>については、今後は積極的に展開しない方針

売上高四半期推移（ストック収益、フロー収益）

- 各サービスの売上高はストック収益が主なものであり、ストック収益は前年同期比121.8%と成長
- 2023年10月期2Qに新サービスの開発に伴うフロー収益が集中したことにより、前四半期比で減収だが想定どおり

（単位：百万円）



*：フロー収益は、280blockerの売上、トビラフォン及びトビラフォンBizの端末代金等を含む

モバイル向けフィルタの主な契約モデル*

- 大手通信キャリアのオプションパックに当社サービスを組み込み、3種類の契約モデルをそれぞれ締結
- 通信キャリアを通じて販売するため、当社はアプリの精度向上に注力することが可能

固定契約

契約者数や月間利用者数の変動に影響を受けない、契約金額固定のモデル

固定契約
(定額契約)

- 毎月定額でサービス提供
- 契約者数、月間利用者数の変動に影響を受けないため、安定した収益を確保

契約者数×単価

当社サービスが利用可能なオプションパックの契約者数に連動する契約

契約者数 × 単価

- 格安スマホ等へ移行する流れによりオプションパック契約者数は減少傾向
- 当社サービス利用者数は増加傾向

月間利用者数×単価

当社サービスの月間利用者数に連動する契約

月間利用者数 × 単価

- 当社サービスの月間利用者数については、注視する状況ではあるが、サービス利用に向けた効果的な活動が取りやすい形態

* : IR note 「<モバイル向けフィルタサービス>契約モデルの違いは？」 <https://note.com/tobila4441/n/n71f22dbaab6d>

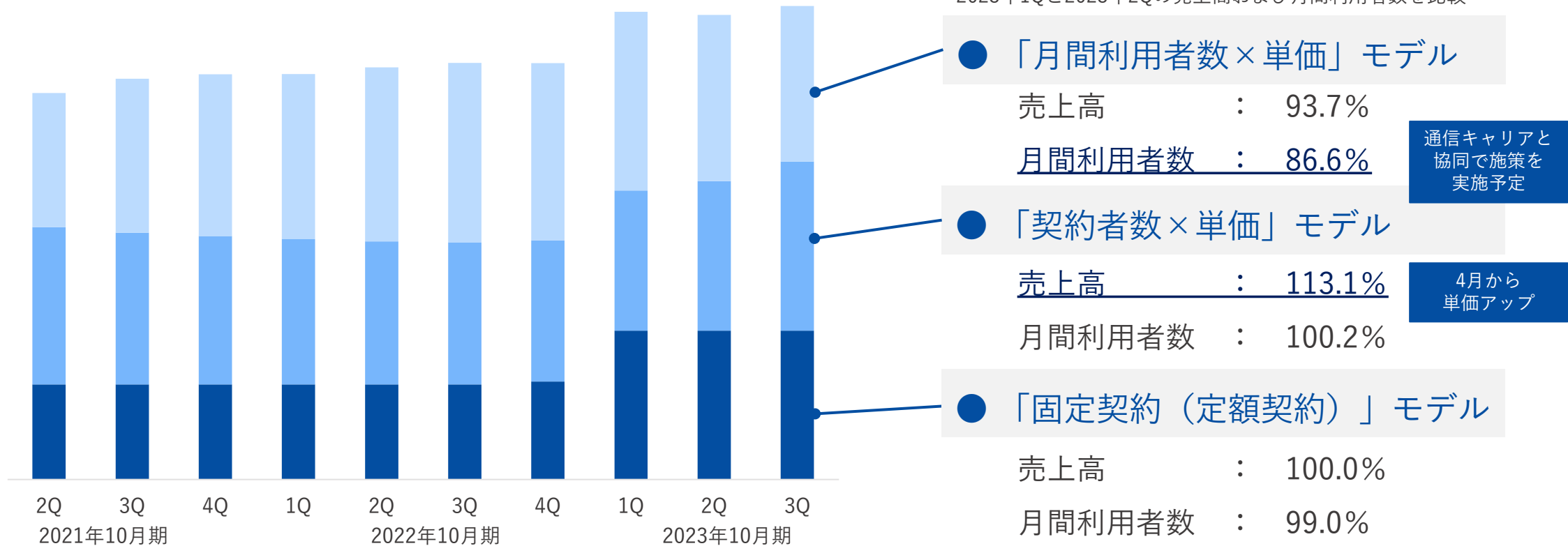
モバイル向けフィルタの主な契約モデル別の四半期推移

- 「月間利用者数×単価」モデルは、前四半期において通信キャリアによる期間限定の施策が実施されていたが、今期は終了した影響を受け減少となった。通信キャリアと協同で利用者拡充に向けた施策を実施予定
- 「契約者数×単価」モデルは、契約更改により4月から単価がアップした影響で、売上高は増加

< 主な契約モデルの売上構成（四半期推移） * >

< 売上高・月間利用者数の推移（前四半期比） >

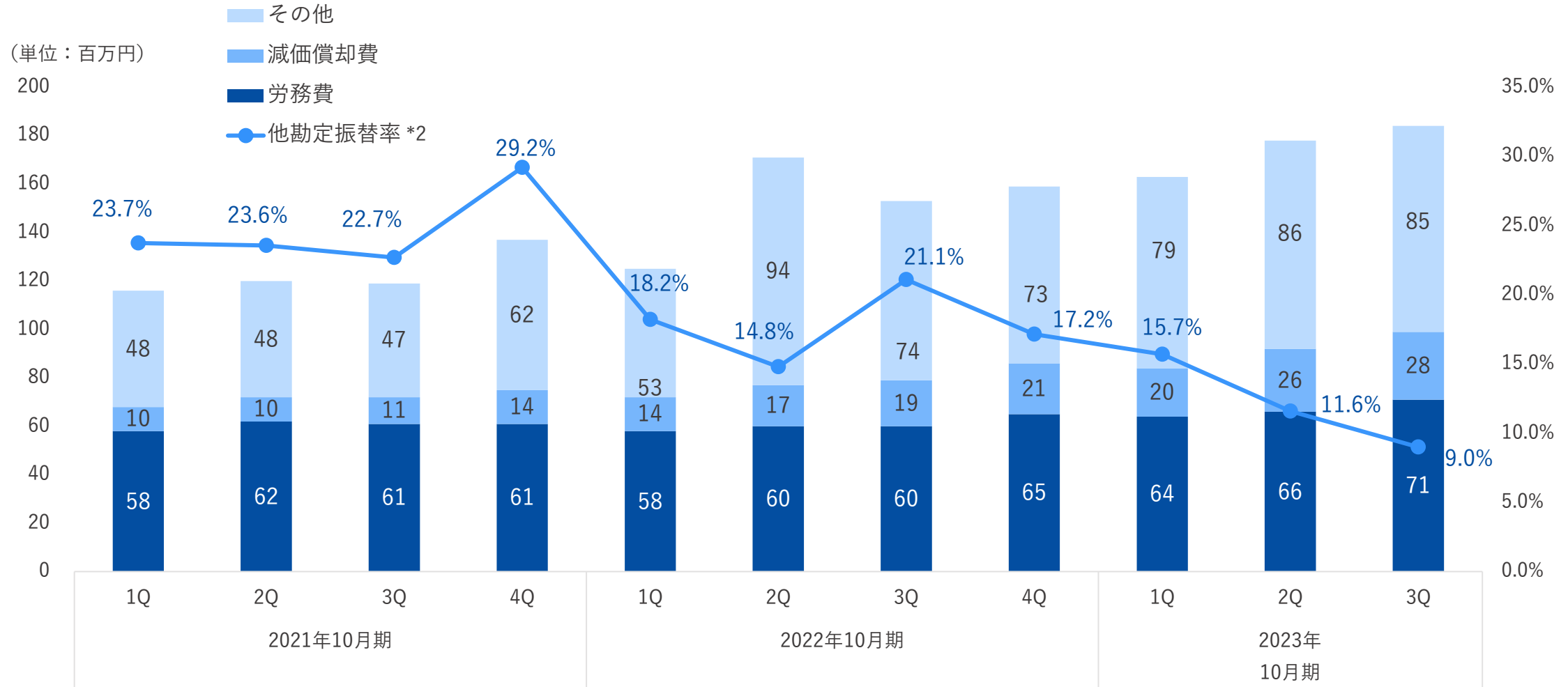
2023年1Qと2023年2Qの売上高および月間利用者数を比較



*：売上高、月間利用者数共に、3大通信キャリアの契約のみ対象。格安スマホ等MVNOの契約は数値に含んでおりません。

売上原価の推移

- 売上原価全体*1では、概ね計画どおりにコントロールしており、通期見通しである643百万円から修正なし



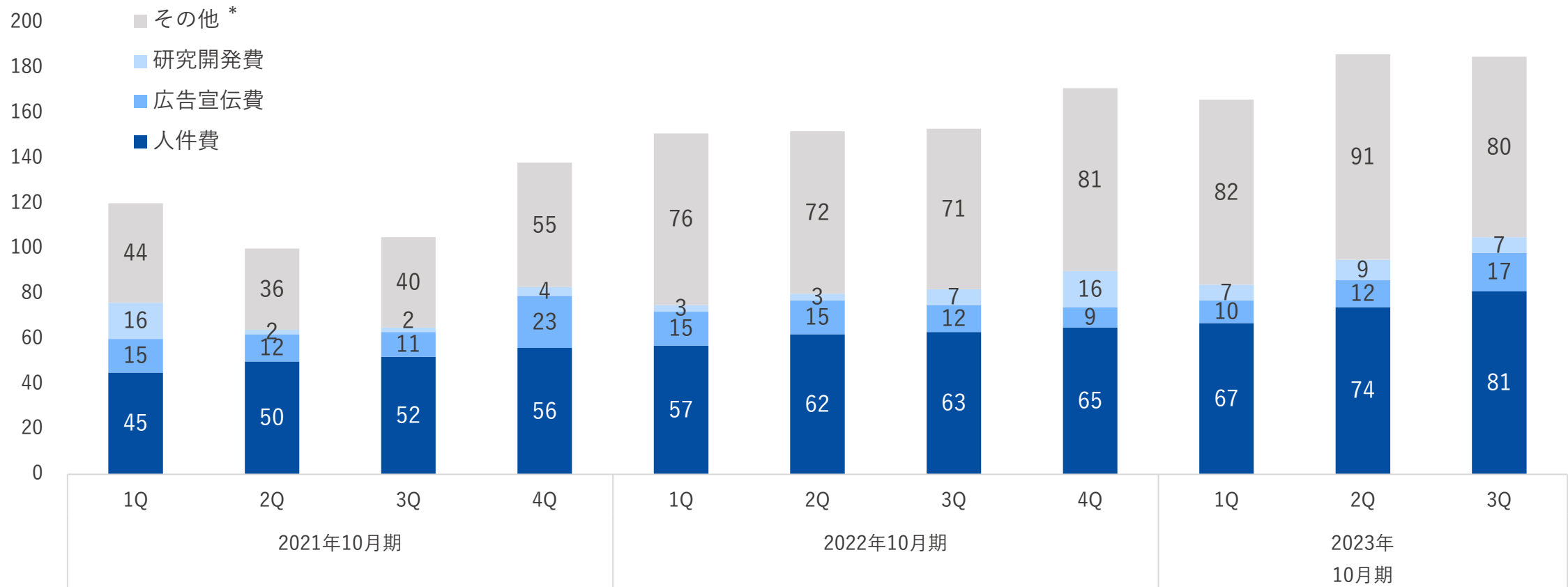
*1：労務費、減価償却費、その他の合計は、他勘定振替や仕掛品振替の調整前であり、財務諸表の売上原価合計とは異なる

*2：他勘定振替率とは、売上原価のうち、主に従業員の活動内容の種類から、研究開発費及び資産等に計上された割合

販管費の推移

- 積極的な採用により人件費は増加したものの、販管費全体としてコントロールしている
- 第4四半期は人材採用や東京オフィスの移転等を予定しているが、通期見通しである757百万円から修正なし

(単位：百万円)

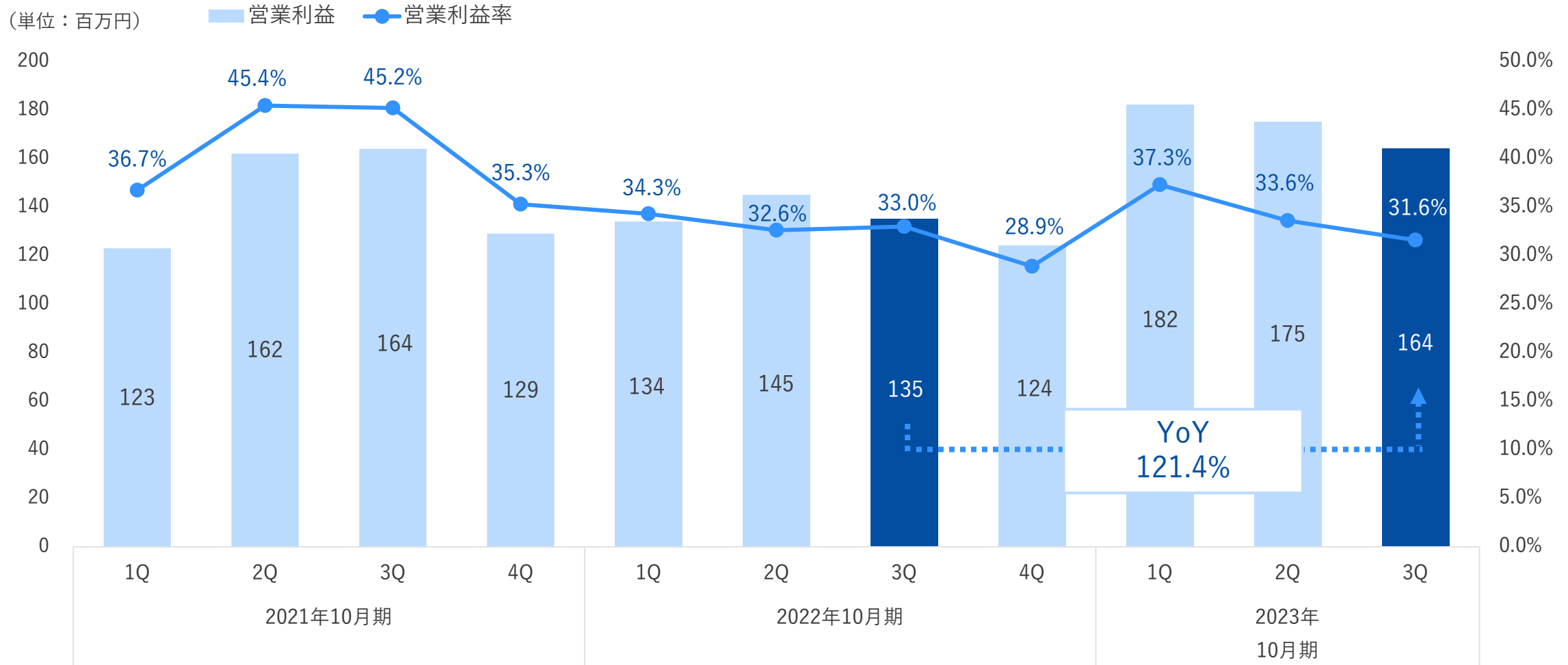


*：「その他」に含まれるものは、のれん償却額や減価償却費、支払手数料等

営業利益の推移

- 前四半期比での減少は、計画通りに採用が進捗している結果であり想定どおり
- 第4四半期は人材採用や東京オフィスの移転等を予定しており、通期業績予想の600百万円から修正なし

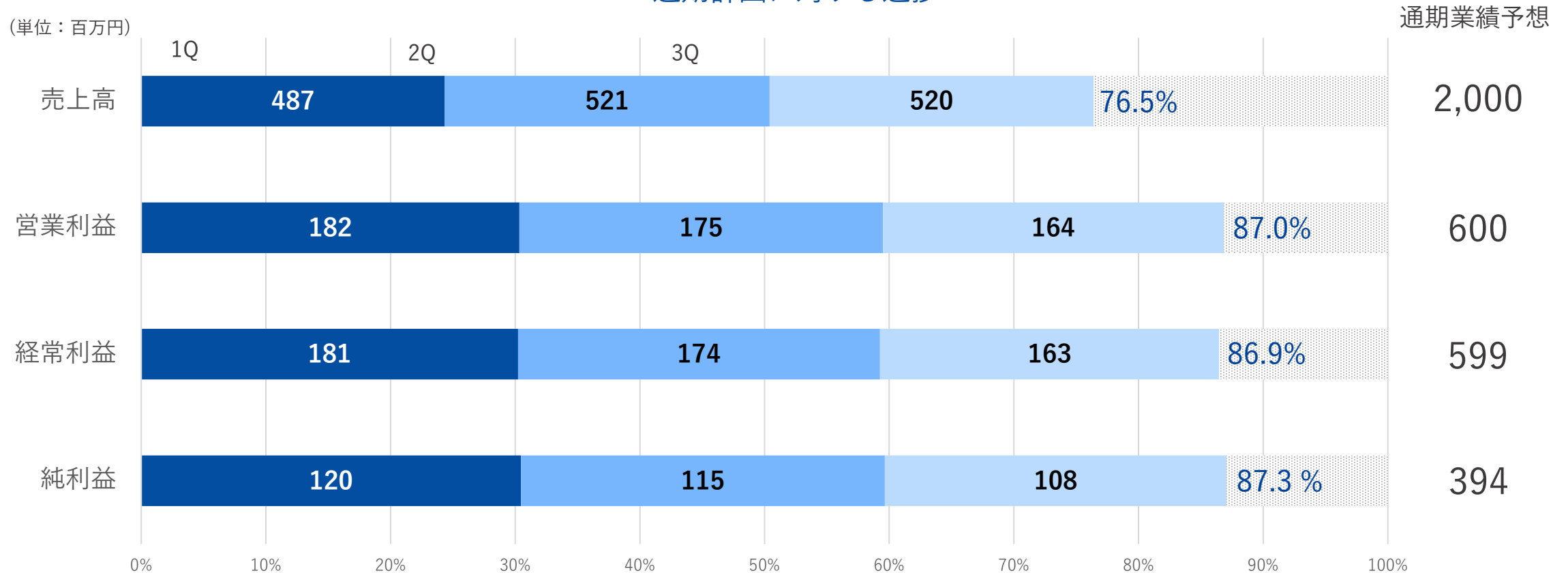
(単位：百万円)



2023年10月期 業績予想に対する進捗

- 第4四半期は人材採用や東京オフィスの移転等で費用を計上予定であり、通期業績予想の変更はなし
- ただし、純利益は「HP4U」事業の譲渡により計画を上回って着地する見込み

<通期計画に対する進捗>



コスト推移

(単位：百万円)

	2022年10月期 3Q (前年同期)	2023年10月期 2Q (前四半期)	2023年10月期 3Q実績	前年同期比	前四半期比
売上原価	121	158	169	138.9%	107.0%
(労務費)	60	66	71	118.6%	107.4%
(減価償却費)	19	26	28	147.2%	111.0%
(その他)	74	86	85	114.6%	99.1%
(開発分その他勘定振替率*)	21.1%	11.6%	9.0%	▲12.1pt	▲2.6pt
販売費及び一般管理費	154	188	186	121.2%	99.2%
(人件費)	63	74	81	128.4%	109.2%
(広告宣伝費)	12	12	17	142.8%	138.2%
(研究開発費)	7	9	7	101.9%	76.1%
(その他)	71	91	80	113.0%	88.1%

*：売上原価のうち、主に従業員の活動内容の種類から、研究開発費及び資産等に計上された割合

BS推移

(単位：百万円)	2022年10月期	2023年10月期 3Q	増減額
流動資産	1,836	2,460	623
現金及び預金	1,435	2,058	622
売上債権及び契約資産	251	235	▲16
その他	148	166	17
固定資産	830	837	6
有形固定資産	58	96	38
無形固定資産	476	419	▲57
投資その他の資産	296	321	25
総資産	2,667	3,297	630
負債	956	1,339	382
流動負債	710	1,130	420
固定負債	245	208	▲37
純資産	1,710	1,958	248
自己資本比率	64.1%	59.4%	▲4.7pt

4

2023年10月期 見通し

2023年10月期 業績見通し

- 2023年10月期の業績見通しは売上高2,000百万円、営業利益600百万円から変更なし
- 影響が軽微であるため業績予想の修正は行わないが、「HP4U」事業の譲渡により特別利益を計上見込み

(単位：百万円)	2021年10月期 実績	2022年10月期 実績	2023年10月期 見通し	前期比
売上高	1,424	1,681	2,000	118.9%
EBITDA	645	693	720	103.9%
営業利益	579	540	600	110.9%
経常利益	577	532	599	112.5%
当期純利益	386	322	394	122.3%
営業利益率	40.7%	32.2%	30.0%	-
ROE *	27.2%	20.1%	21.1%	-
自己資本比率	68.6%	64.1%	61.3%	-

*：ROEの分母となる自己資本は期中平均を用いて計算

2023年10月期 サービス別 売上見通し（再掲・変更なし）

- 迷惑情報フィルタ事業においては、すべてのサービスで着実に成長する見通し

(単位：百万円)	2021年10月期 実績	2022年10月期 実績	2023年10月期 見通し	前期比
<迷惑情報フィルタ事業>	1,346	1,621	1,953	120.5%
モバイル向け	1,132	1,271	1,447	113.9%
固定電話向け	148	165	174	105.2%
ビジネスフォン向け	65	184	331	180.2%
<その他の事業>*	78	60	46	76.6%

*： <その他の事業>については、今後は積極的に展開しない方針

株主還元 - 2023年10月期 配当予想の修正（増配）

- 「HP4U」事業の譲渡により、2023年10月期決算において特別利益を70百万円計上する見込み。
- 配当性向 35 %を基本方針としており、2023年10月期の1株あたりの配当金については、当初予定（2022年12月9日発表）の12円90銭から14円50銭に増配の予定

配当性向

35%

	実績	予定	
	2022年10月期	(修正前) 2023年10月期	(修正後) 2023年10月期
1株当たり 配当金（期末）	10円60銭	12円90銭	14円50銭

5

東証市場区分再編の経過措置終了時期
の明確化に対する当社の対応について

当社は10月20日よりスタンダード市場へ上場いたします

- プライム市場の上場維持基準への適合状況は、「流通株式時価総額」について基準を充たしていない
- 外部環境の変化への対応や中長期的な成長のための継続的な投資等により、中期経営計画の達成には今しばらくの時間が必要であると判断。流通株式時価総額については金融市場等の外部環境の影響を考慮する必要もあり、経過措置の終了時において同基準に抵触するリスクが存在すること自体が、適正な株価形成の妨げになると考えられる
- プライム市場において経過措置中に基準を充たした場合でも、基準を充足する状態が保てないリスクがあることを考慮し、当社の株主の皆様が不安を持つことなく安心して当社株式を保有・売買できる環境を整えることが重要と判断
- 現時点においては、当社の限られた経営資源を、当社事業の成長に集中させることが、全てのステークホルダーの皆様の利益に資するものと判断

<スタンダード市場の上場維持基準の適合基準と当社の状況>

	スタンダード 市場上場維持基準	当社の状況		適合状況
		2021年6月30日時点 (基準日)	2022年10月31日時点 (基準日)	
流通株式時価総額	10億円以上	57億円	51億円	○
流通株式数	2,000単位以上	41,571単位	53,553 単位	○
株主数	400人以上	4,461人	6,255 人	○
流通株式比率	25%以上	40.0%	50.4 %	○

2023年10月期 第3四半期 オンライン決算説明会のご案内

- Zoomウェビナーを利用したオンライン配信にて決算説明会を開催いたします


開催日時	2023年9月8日（金）18時30分～19時30分
開催方法	Zoom ウェビナーを利用したオンライン・ライブ配信
当社説明者	代表取締役社長 明田 篤 執行役員CFO 金町 憲優
参加対象者	どなたでもご参加可能です。
内容	決算説明（30分）、質疑応答（30分）
参加申込方法	下記フォーム、またはQRコードよりお申込みください。 https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_3lOa_7ogTkaR6J8yr-pc9A



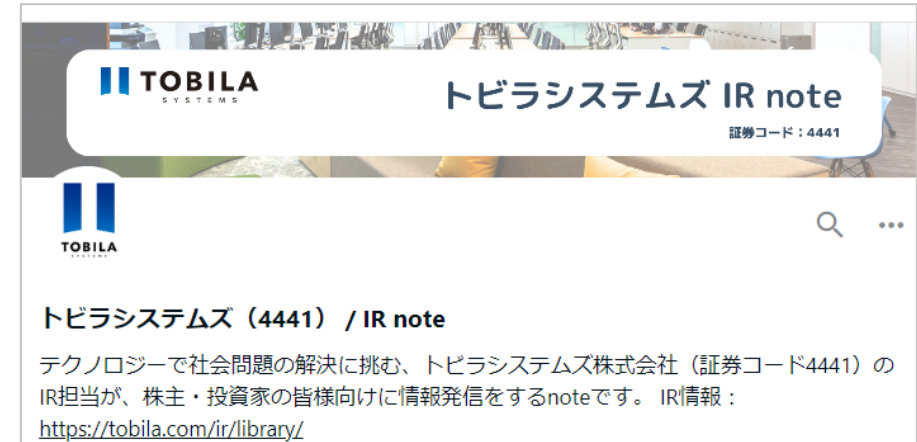
お知らせ

- 個人投資家の皆様へ向けて説明会の実施や、noteにてIR情報の発信を行っております

● 個人投資家向けオンライン質問会

開催日時	2023年9月19日（火）18時～19時
開催方法	Zoomウェビナーを利用したオンライン・ライブ配信
当社説明者	執行役員CFO 金町 憲優
参加対象者	どなたでもご参加可能です。
内容	決算概要（10分）、質疑応答（30分）
参加申込方法	<p>下記フォーム、 またはQRコードより お申込みください。</p>  <p>https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_08uq-3PySpqgpr-SEESLjg</p>

● noteを活用したIR情報の発信



決算に関する情報や、株主・投資家の皆さまからいただくご質問についての解説等、noteにて定期的に発信。
[「IR noteマガジン」](#)にも参画しています。

note

<https://note.com/tobila4441>



2023年10月期 財務状況 四半期業績推移

(単位：百万円)	2020年10月期				2021年10月期				2022年10月期				2023年10月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上	270	319	312	331	335	358	364	366	391	447	411	430	487	521	520
(迷惑情報フィルタ事業)	244	295	290	312	316	335	344	349	377	430	397	415	471	510	509
(その他事業)	26	23	22	19	19	22	19	17	14	16	14	15	16	11	10
売上原価	77	82	78	83	89	92	92	97	103	147	121	133	138	158	169
(労務費)	54	53	54	55	58	62	61	61	58	60	60	65	64	66	71
(減価償却費)	11	10	10	12	10	10	11	14	14	17	19	21	20	26	28
(その他)	31	42	37	45	48	48	47	62	53	94	74	73	79	86	85
(開発分その他勘定振替率*1)	20.1%	22.5%	22.6%	28.5%	23.7%	23.6%	22.7%	29.2%	18.2%	14.8%	21.1%	17.2%	15.7%	11.6%	9.0%
販管費	93	94	99	126	122	102	106	139	153	154	154	173	167	188	186
(人件費)	41	42	44	44	45	50	52	56	57	62	63	65	67	74	81
(広告宣伝費)	0	11	14	29	15	12	11	23	15	15	12	9	10	12	17
(研究開発費)	8	7	10	17	16	2	2	4	3	3	7	16	7	9	7
(その他)	42	32	31	35	44	36	40	55	76	72	71	81	82	91	80

*1：売上原価のうち、主に従業員の活動内容の種類から、研究開発費及び資産等に計上された割合

2023年10月期 サービス別 売上高 四半期推移

(単位：百万円)

	2020年10月期				2021年10月期				2022年10月期				2023年10月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
<迷惑情報フィルタ事業>	244	295	290	312	316	335	344	349	377	430	397	415	471	510	509
モバイル向け	211	247	248	259	265	281	290	295	311	331	313	314	361	378	371
固定電話向け	27	42	33	43	38	37	37	34	34	51	38	41	44	47	50
ビジネスフォン向け	4	5	7	9	11	17	16	20	31	48	44	59	65	84	87
<その他の事業>	26	23	22	19	19	22	19	17	14	16	14	15	16	11	10

ディスクレームー

● 本資料の取扱について

本決算発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

2023年10月期 通期決算発表は、2023年12月8日（金）16時以降を予定しております。



■ お問い合わせ先

トビラシステムズ株式会社 IR担当

E-mail ir@tobila.com

HPお問い合わせ <https://tobila.com/contact/>



TOBILA

S Y S T E M S